

## 9月のアルミレポート及び10月の見通②

橋本アルミ(株) 橋本健一郎氏



## ■概況

【自動車生産】：8月の四輪車生産台数は604,974台で、前年同月の634,833台に比べて29,859台・4.7%の減少となり、14ヵ月連続で前年同月を下回った。8月の車種別生産台数と前年同月比は次のとおり。1.乗用車 - 509,505台で24,398台・4.6%の減少となり、14ヵ月連続のマイナス。このうち普通車は311,069台で770台・0.2%の増加、小型四輪車は109,593台で1,012台・0.9%の増加、軽四輪車は88,843台で26,180台・22.8%の減少。2.トラック - 86,225台で4,954台・5.4%の減少となり、4ヵ月連続のマイナス。このうち普通車は39,246台で986台・2.5%の減少、小型四輪車は20,912台で502台・2.3%の減少。軽四輪車は26,067台で3,466台・11.7%の減少。3.バス - 9,244台で507台・5.2%の減少となり、2ヵ月連続のマイナス。このうち大型は786台で270台・52.3%の増加、小型は8,458台で777台・8.4%の減少。

8月の国内需要は327,049台で、前年同月比1.9%の減少であった。(うち乗用車271,386台で前年同月比3.5%の減少、トラック54,623台で同6.8%の増加、バス1,040台で同6.1%の増加。)

輸出は前年同月比0.1%の減少。(実績)

販売：9月の国内自動車販売台数(軽は除く)は30万5802台で前年比-3%。2か月ぶり再びマイナス。内乗用車 -3.2% 貨物 -2.1%  
バス +3.7%

【住宅着工数】：・平成27年8月の住宅着工戸数は80,255戸で、前年同月比で8.8%増となった。また、季節調整済年率換算値では93.1万戸(前月比1.8%増)となった。・利用関係別にみると、実数値では、前年同月比で持家、貸家、分譲住宅ともに増となった。季節調整値については、前月比で持家、貸家で減、分譲住宅で増となった。・住宅着工の動向については、前年同月比で6ヵ月連続の増加となっており、昨年4月の消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動の影響が薄れ、持ち直しているとみている。・反動減の影響が大きかった持家は、前年同月比で4ヵ月連続の増加となった。今般の経済対策等の効果が住宅着工に表れていると思われる。引き続き、今後の動向をしっかりと注視していく必要がある。(持家)前年同月比では4ヵ月連続の増加(前年同月比4.1%増、季節調整値の前月比では1.1%減)。

(貸家)前年同月比では4ヵ月連続の増加(前年同月比17.7%増、季節調整値の前月比では1.6%減)。(分譲住宅)前年同月比では2か月ぶりの増加(前年同月比2.6%増、季節調整値の前月比では11.5%増)。(分譲マンション)前年同月比では2か月ぶりの増加(前年同月比0.0%増)。(分譲一戸建住宅)前年同月比では16か月ぶりの増加(前年同月比4.6%増)。

【アルミニウム2次合金 同合金地金等生産実績】：前年比-5.2%の5万6922t。11ヵ月連続マイナス  
出荷は-4.1%の5万9448t 18ヵ月連続マイナス。内 出荷先 鋳物 -6.5% ダイカスト -2.5% 板 -0.1% 押出 +2.8% 鉄鋼 -13.4% 合金地金メーカー

-8.1%

【アルミ圧延・押出品生産数】：-0.6% 6ヵ月連続マイナス 14万8613t

板類：(1)缶材 36119<sup>t</sup>(0.7%)ビール系飲料はマイナス模様となったものの、ボトル缶の好調及び一部コーヒ缶のアルミ化による需要増により、5ヶ月連続でプラス。自動車 10105<sup>t</sup>(▲0.6%)：アルミパネル材を採用する主に高級乗用車等の輸出増及びトラック架台の需要増はあったものの、国内乗用車生産台数の減少により(7月の生産台数：708千台、前年同月比：▲6.5%)、3ヶ月ぶりにマイナス。(2)輸出 13895<sup>t</sup>(14.6%) 海外関連工場への素条輸出の増加や円安による輸出環境の好転等により、17ヶ月連続でプラス

押出類：(1)建設：35345<sup>t</sup>(▲0.2%)：7月の新設住宅着工戸数はプラスとなったが(7月の着工戸数：78,263戸、前年同月比：+7.4%)、建設全体としては14ヶ月(2)自動車 9353<sup>t</sup>(▲4.1%)

国内乗用車生産台数と連動し、2ヵ月連続。

【輸出】：アルミ新地金が前年比-21.3%。二次合金が+27.8% スクラップが-23.8% アルミ缶が前月比-14.1%

【輸入】：アルミ新地金が前年比-39%。二次合金が-13.6%。スクラップが-32.3%。合金スクラップが-50.9%。

【見通し】：・自動車は生産が前月に続き大減少の-4.7%。9月の国内販売台数が前年比-3%。生産が14ヵ月連続マイナス、期待の販売が再び1ヵ月ぶりマイナス。生産がついに1年間以上前年割れとなった。販売の方が1ヵ月ぶりに再びマイナス。今後生産、販売ともにマイナスが続くか注視が必要。平成27年8月の住宅着工戸数は80,255戸で、前年同月比で8.8%増となった。また、季節調整済年率換算値では93.1万戸(前月比1.8%増)となった。

・利用関係別にみると、実数値では、前年同月比で持家、貸家、分譲住宅ともに増となった。季節調整値については、前月比で持家、貸家で減、分譲住宅で増となった。

・住宅着工の動向については、前年同月比で6ヵ月連続の増加となっており、昨年4月の消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動の影響が薄れ、持ち直しているとみている。

・反動減の影響が大きかった持家は、前年同月比で4ヵ月連続の増加となった。今般の経済対策等の効果が住宅着工に表れていると思われる。引き続き、今後の動向をしっかりと注視していく必要がある。

・アルミ圧延・押出品生産数 主力の押出 建設部門の悪化を受けて減少。唯一 二桁プラスの輸出に期待。

・アルミニウム2次合金 同合金地金等生産実績 自動車系の悪化を受けて減少。自動車が低迷する中、住宅の回復に期待。

・輸出 2次合金だけが円安を追い風に増加。

・輸入 内需の低迷や円安から減少。